



会長就任のご挨拶

香川 次郎 日本エレクトロヒートセンター 会長

この度、第17回理事会におきまして、片倉前会長から引継ぎ、当センターの会長職を拝命いたしました。

片倉前会長におかれましては、平成18年に前身の日本電熱協会を法人化した新生「日本エレクトロヒートセンター」の発足や、昨今の原油高やリーマンショックといった社会経済環境の大きな変化の中で、特に産業分野での電気加熱の普及拡大に尽力されるなど、当センターの発展に多大なご尽力をして頂きました。私は、平成21年から2年間、副会長として当センターの運営に携わらせていただきましたが、会長としての重責に身の引き締まる思いであるとともに、あらためて前会長の業績に感謝と敬意を表する次第であります。

さて、先般の東日本大震災を受け、全国的に電力の需要と供給のバランスが非常に厳しい状況にあります。特に、この夏は東京・東北電力の供給エリアにおいて、平日昼間の使用最大電力を15%削減するという需要抑制の目標が掲げられており、節電や省エネルギーに対する様々な取り組みが進められていくことと思います。このような状況におきましても、個々のお客さまのニーズに合わせた活動を行うということの重要性は変わることがありません。そのためにも、当センターが過去から蓄積してきた電気加熱に関する技術、特にエネルギーの有効利用に関する技術や人的ネットワークを生かし、様々な場面で有益な情報を提供し、理解していただくという活動がますます重要になってくると考えております。

また長期的に見れば、省エネルギー、環境改善、コスト低減といった課題は山積しております。さらに、お客さまのニーズはますます多様化していくと考えられます。これらに対応できる人材の育成や、さらなる技術の蓄積が今後とも重要になってまいります。今年度は、従来の取組みに加え、省エネルギー等に関する技術的なノウハウをお持ちの人材を各企業の枠にとらわれず選定させていただき、センターで一元管理することで様々な場面でご活躍して頂くことについても検討を始めていく予定であります。この方々をお客さまにご紹介させていただくことで、お客さまからの様々なニーズに迅速に responding ことができ、会員の皆様方のさらなるビジネスチャンスの拡大につながるものと考えております。

私といたしましては、引き続き電気の有効利用を通じて、当センターがエレクトロヒートシステムのナショナルセンターとしてお客さまのお役に立ち続けることができるよう、努めてまいります所存でございます。

お客さまに喜んでいただくために、何ができるかを考え、センターとしての最善を尽くす。そういったセンターにしていきたいと考えております。今後とも、会員の皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

(かがわ じろう) 関西電力株式会社 代表取締役副社長 お客さま本部長